



平成 23 年 12 月 26 日

意見書

岩手県知事 達増 拓也 様

私たちは KYT です。KYT というのは、けっぱれ山田 Toekomst(トゥーコムスト)の略です。KYT のアドボカシーチームでは、岩手県復興基本計画について、①こうしてほしいなと思ったところ②いいなと思ったところを考えました。そして目を通して、かなえて欲しいと思って、この意見書をつくりました。

私たちが言ったことを、復興にとり入れてください。

よろしくお願ひします。

① こうしてほしいなと思ったところ

P50 新たな商店街の再構築について

商店街より駅ビルの方が良いと思いました。1回でエレベーターで移動できる避難ビルにもなるから良いと思ったし、屋上から景色が見られるから良いと思いました。

県立山田病院について

山田町復興計画(行政素案) P31(3)に「県立山田病院の診療体制の充実を図るため県・県医療局への要望を行う」という文章がありました。私たちからもお願いしたいと思ひます。

今回の震災で山田病院が被害を受けたので、海の近くに山田病院を移したのは間違いだと思ひます。旧山田病院の場所だったら住宅地にも近いし山田町の人も気軽に通えると思ひます。

また、今の旧山田病院は不気味で入りにくい建物だと思ひます。なので、誰でも病院が

嫌いな人であっても入れるような清潔感のある開かれた病院にして欲しいです。
さらに震災にも強い建物に作り直したほうがいいと思います。
そのほうがもっとよくなると思います。

② いいなと思ったところ

P42 水産業の再生について

震災前は、市場が朝早くから盛り上がっていたからその活気が元に戻ってほしいと思います。でも、船がないと漁もできないし、加工業もできなくなるからできれば一人に船外機ひとつでもいいから欲しいです。

漁師が今船を買おうと借金を返済しきれないかもしれないので、船の支援を岩手県にして欲しいです。

山田町は、くじらがいてくじらが山に上がったのも有名なくじら山があります。岩手県沿岸はするめがたくさんとれていかとっくりなどが有名です。しかし、とりすぎたら数が少なくなり絶滅してしまう可能性も出てくるので資源を大切にしたいほうがいいと思います。

そのために、海産物は道の駅などで特産品として販売したり、岩手県の市町村の限定商品にすれば資源も大切にできるし、観光客も増えると思います。

P27 災害に強い交通ネットワークの構築について

今回の震災で道路が使えなくなって、田の浜が孤立したけど、三陸道は使えて物資を輸送することなどできました。この経験から、交通は大事だと思いました。

岩手県は、みんなで作ってこそより良いものになると思うので、ぜひ、私たちの意見も取り入れて欲しいです。子どもたちがどう思っているか、伝わってくれるとうれしいです。